

視察研修レポート

テーマ

介護予防・日常生活支援総合事業

課題 (1) 新しい総合事業の移行戦略について
(2) 介護予防事業について

視察地 埼玉県吉見町（人口19,919人、高齢者人口5,637人）

民生文教
常委會

5月11日(水)

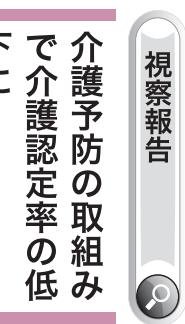


所管事務調查

きく、地域の特性にあつた仕組みづくりを行うことができますが、どのような地域づくりを進めていくのかについては、先行する自治体においても試行錯誤が行われています。そこで、先進地である吉見町が描く新しい総合事業の移行戦略を調査しました。

した介護予防、世代間交流の施設「悠友館」を新築しました。

は、元気な高齢者が多く特定健診の声掛けや案内、高齢者学級の受付や資料配布、通所型事業の参加者出迎えや靴の履き替えなどにおいて、参加者をサポートしながら自らも健康づくりをしてい



**介護予防の取組み
で介護認定率の低
下に**

万9114人が利用して
います。

また、この施設の中に、「地域包括支援センター」があることで、高齢者が安心する居場所づくりにもなっています。



介護予防施設「悠友館」 ゆうゆうかん

介護予防の取組みを調査